

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1 頁
■輸送上のご注意	1 頁
■吊上げ時のご注意	1 頁
■施工上のご注意	2 頁
■使用上のご注意	2 頁
■ファン使用時のご注意	3 頁
■コンセントパー使用時のご注意	3 頁

■各部の名称・仕様	4 頁
■設置方法	5 頁
■連結方法	5 頁
■外装・内装パネルの着脱方法	5 頁
■マウントレール・マウントアングルの移動方法	7 頁
■側板組替仕様	8 頁
■各種オプションの取付方法	9 頁

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で
区分しています。

注意する

してはいけない

必ず守る

■輸送上のご注意

注意	
	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラックおよび機器が破損するおそれがあります。
	本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締め過ぎ ないでください。特に締め過ぎを認識できないレバーブ ロックなどの荷締器具は使用しないでください。締め過 ぎにより、ドア・側板などの変形やヒンジ部の破損の原因 になります。

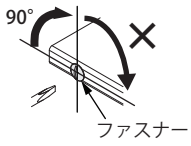
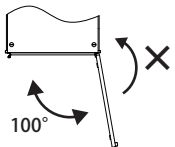
■吊上げ時のご注意

警告	
	本製品を連結した状態で吊り上 げしないでください。落下・破損・ 変形の原因になります。
	吊り上げ可能質量を超えないでください。 落下・破損・変形の原因になります。 吊り上げ可能質量：600kg（製品質量を含む） （製品質量は、4 頁「■各部の名称・仕様」を参照）
	本製品を吊り上げる場合 は、アイボルト【RD71-16】を 使用し、吊り上げ中心方向 に向けて固定してください。 落下・破損・変形の原因に なります。 必ず 4 か所で吊り上げ、45° 以 上の角度で均一な荷重にして ください。2 か所での吊り上げ や 45° 未満の角度での吊り上 げは、落下・破損・変形の原因 になります。

■施工上のご注意

⚠ 警告			
 アースせよ	アース端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。 感電の原因になります。		必ず付属の耐震座金を使用して固定してください。 地震などで転倒・破損の原因になります。
	設置・連結を行う際は、必ず 2 人以上で作業してください。 けがの原因になります。		連結を行う際など脚立に乗って作業する場合は、足元が安定していることを確認してください。転倒・落下によるけがの原因になります。
	アンカーボルトは必ず M12 を使用してください。 地震などで転倒・破損の原因となります。		
⚠ 注意			
	ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。 ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。		

■使用上のご注意

⚠ 警告			
	機器をスライドレールなどにより引き出す際は、2 段以上同時に引き出さないでください。転倒・破損・変形の原因になります。		重量物を搭載する際は、2 人以上で作業してください。また、適切な保護具を着用してください。けがの原因になります。
	重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。重量物をスライドレールなどにより引き出した場合、転倒・破損・変形の原因になります。		側板の着脱を行う際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。 保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
⚠ 注意			
 指に注意	ドアの着脱を行う際は、ドアとラック本体の間に指を挟まないようご注意ください。		本製品を横倒しの状態で機器を搭載しないでください。また、機器を搭載した状態でラックを横倒しにしないでください。ラックの変形・機器の破損の原因になります。
	ドアの着脱を行う際は、ヒンジのレバー操作で指を挟まないようご注意ください。		台板取付用ファスナーは 90° 以上回さないでください。破損の原因になります。 
	機器をスライドレールなどにより引き出したり、収納したりする際は、機器とフレームの間に指を挟まないようご注意ください。		
	ヒンジ・ロッド棒受金具など部品を取り外す際は、取付ねじの落下・破損にご注意ください。		ドアの開閉角度は約 100°です。扉を開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。ドアおよびヒンジの変形・破損の原因になります。 
	次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。 ・高温、高湿となる場所 ・腐食性ガスのある場所 ・振動、衝撃のある場所 ・可燃性ガスのある場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ(電界・磁界)の強い場所 ・水滴のかかる場所 ・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所		ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損・へこみ・歪みが発生し、強度低下の原因になります。		シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	天井面へは局所的な荷重をかけないでください。変形の原因になります。		シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	ブラインドベースに機器や物を載せたり、人が乗ったりしないでください。変形・破損の原因になります。		ヒンジのレバー操作は電動ドライバーで行わないでください。破損の原因になります。
	本製品の上に乗ったり、もたれ掛かったりしないでください。破損・転倒・けがの原因になります。		ヒンジのレバーを逆回転や無理な回転をしないでください。十字穴・ギア部が破損するおそれがあります。

⚠ 注意



使用するねじは、指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M 4	1.5 ～ 2.0
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ～ 2.0
M 5	2.9 ～ 3.9
M 6	3.9 ～ 4.9
M16	50.0 ～ 59.8

※ただし、S タイプねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

機器を前面もしくは背面のマウントアングルのみで固定する場合は、機器の質量が 1U あたり 5kg 以下としてください。5kg を超える場合は L 型レール【RD65】などを併用して、固定してください。

※機器の質量が 5kg 以下であっても形状(奥行寸法)や重心位置、施工時の取り扱いなどによって機器後部が下がる場合があります。



搭載した機器は、必ず固定してください。地震などで機器の落下・破損の原因になります。

ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。

- ・潤滑剤を使用しない場合の施錠寿命は、約 1 万回です。
- ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。

ハンドルの交換はドアを取り外して作業を行ってください。部品・ねじが落下して紛失の原因になります。

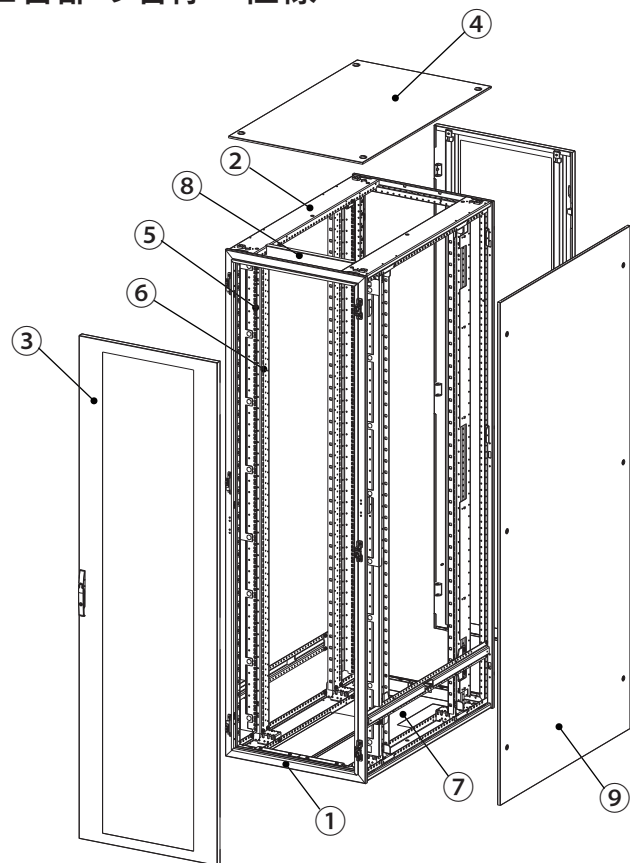
■ファン使用時のご注意

⚠ 警告			
 回転物注意	けがのおそれがあります。 ・フィンガーガードを取り外したまま運転をしないでください。 ・ファン回転部に指や異物などを絶対に入れないでください。 ・保守点検時は（ファンの回転を点検する場合を除き）必ず電源を OFF にし、ファンの羽根の回転が停止してから行ってください。	 	定格電圧で使用し、電源電圧が変動した場合でも使用電圧範囲を超えないでください。故障・感電・火災の原因になります。
			異常時(焦臭いなど)は電源を OFF にし、運転を停止してください。感電・火災の原因になります。

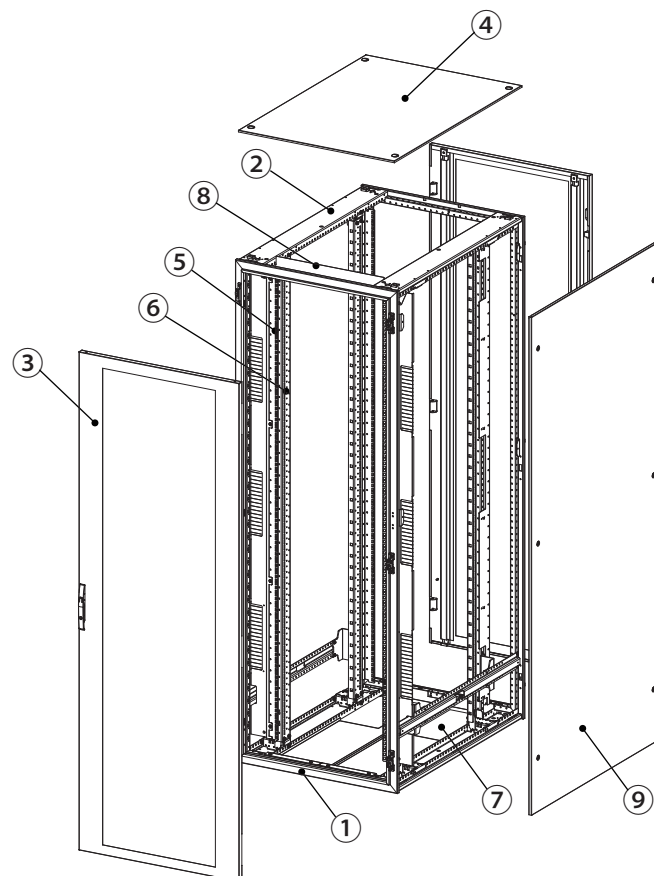
■コンセントバー使用時のご注意

⚠ 警告			
 分解禁止	分解・改造をしないでください。 感電・火災の原因になります。		電源コードまたはケーブルを束ねての使用は避けてください。過熱して火災の原因になります。
	被覆に傷が付いた状態での使用や、濡れた手でプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。		二重三重のたこ足配線はしないでください。プラグが抜けやすくなり、発熱して火災の原因になります。
 ぬれ手禁止			刃の曲がったプラグは使用しないでください。 火災の原因になります。
	電源コードまたはケーブルの引張り・はさみ・無理な曲げ・ねじり・傷付け・加工・加熱・重いものを載せるなどしないでください。断線して火災の原因になります。		電源コードまたはケーブル・プラグ・コンセントが破損したままの状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。
	定格電流・定格電圧を超えて使用しないでください。 過熱して火災の原因になります。		定期的にプラグの表面や差込部を掃除してください。 火災の原因になります。
	プラグの差し込みが浅い状態で使用しないでください。 感電・火災の原因になります。		必ずプラグを持ってまっすぐに引き抜いてください。 内部の電線が切れて、焼損・火災の原因になります。

■各部の名称・仕様



W=598



W=698

部品名	材質	板厚 mm	数量
① フレーム枠	鉄	1.6	—
② フレームフカサ	〃	2.3	—
③ ドア	〃	0.8	2 コ
④ 天井板	〃	〃	1 コ
⑤ ケージナット用マウントアングル	〃	2.3	4 コ
⑥ マウントレール	〃	〃	4 コ
⑦ ブラインドベース	〃	1.0	2 コ
⑧ エアシールド (W=598)	PC	0.5	1 コ
⑧ エアシールド (W=698)	鉄	1.0	1 コ
⑨ 側板※	〃	0.8	—

※側板組替仕様をご選定いただいた場合に適用します。

側板組替仕様は種類や組み合わせによって取付位置・数量などが変更となる場合があります。

●付属品

名称	数量	備考
キー	4 コ	ドア施錠用
耐震座金	4 コ	アンカー・基台への固定に使用
ケージナット用取付工具	1 コ	ケージナットの取り付けに使用
取扱説明書(本紙)	1 部	—

品名記号		外形寸法 mm			パネル取付有効スペース	製品質量 kg
パールホワイト塗装	ブラック塗装	W	H	D	EIA(タテ)	
FSV100-620EN	FSV100-620EKN	598	2000	1017	42U	92
FSV100-622EN	FSV100-622EKN	〃	2200	〃	46U	94
FSV110-620EN	FSV110-620EKN	〃	2000	1117	42U	98
FSV110-622EN	FSV110-622EKN	〃	2200	〃	46U	100
FSV100-720EN	FSV100-720EKN	698	2000	1017	42U	98
FSV100-722EN	FSV100-722EKN	〃	2200	〃	46U	100
FSV110-720EN	FSV110-720EKN	〃	2000	1117	42U	104
FSV110-722EN	FSV110-722EKN	〃	2200	〃	46U	107

ご注意

U=44.45mm

- ・側板は標準装備されておりません。側板組替仕様を別途ご用命ください。
- ・フレームは全溶接構造ですので、分解や現地組立はできません。
- ・サーバを搭載する場合は、各サーバによってレールの形状などが異なり、取り付けできない場合があります。
- ・組替仕様・オプション実装(同送)・特別注文対応により、付属品の数量・種類などを変更する場合があります。
- ・ケージナット【RD751】は付属されていないので、別途ご用命ください。

■設置方法

⚠ 警告

!

アンカーボルトは必ず M12 を使用してください。
地震などで転倒・破損の原因となります。

!

必ず付属の耐震座金を使用して固定してください。
地震などで転倒・破損の原因となります。

⚠ 注意

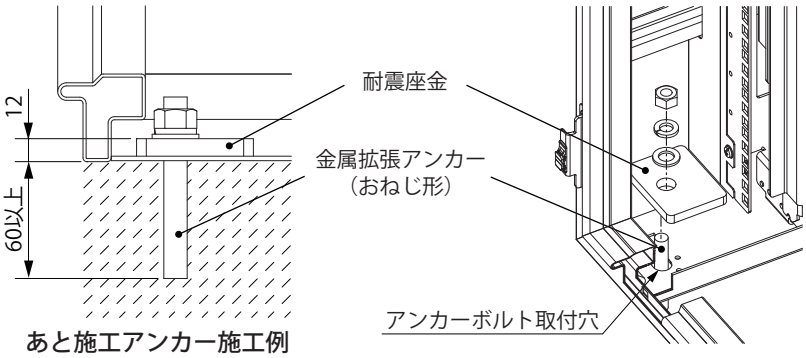
!

ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。
ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。

ラック本体底面のアンカーボルト取付穴(長穴 17mm×20mm 4 か所)に、付属の耐震座金を使用してアンカーボルト M12 で床面に固定してください。ラック本体を基台などへ固定する場合も同様に、付属の耐震座金を使用してください。

(単位：mm)

ボルト径	最小埋込深さ mm
M12	60

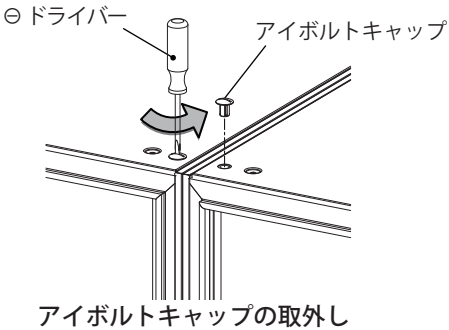


あと施工アンカー施工例

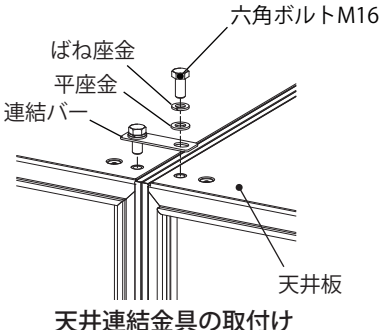
■連結方法

オプション・天井連結金具セット【RD76-1FH】を選定してください。

1. ラックの連結間に隙間がないように設置してください。
2. ラック天面のアイボルトキャップを外してください。(連結側のみ)
アイボルトキャップが手で回らない場合は、⊖ドライバーなどで反時計方向に回して外してください。
3. 天井連結金具セットの連結バーを天井板の上にのせて、付属の六角ボルト M16・ばね座金・平座金で締め付けて連結してください。



アイボルトキャップの取外し



天井連結金具の取付け

⚠ 注意

!

取り付けの際は、適正締めトルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因となります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締めトルク N・m
M16	50.0 ～ 59.8

■外装・内装パネルの着脱方法

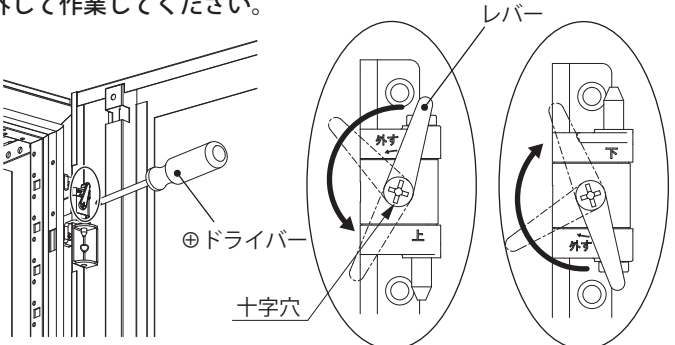
機器搭載・配線を行う際は、必要に応じて外装・内装パネルを取り外して作業してください。

●ドアの着脱方法

1. ドアを開けた状態で、フレームに取り付けられたヒンジを下部、上部、中央部の順番でレバーを回転させてください。
2. ドア全体を上へ持ち上げ、ドアを取り外してください。
3. 取り付けの場合は逆の手順で行ってください。

【ご注意】

レバーが硬い場合は、十字穴を⊕ドライバーで回転させてください。ドアを取り付けた後は、ドアが外れないか、がたつきがないかを確認してください。



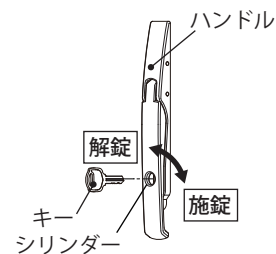
ヒンジ (上部) ヒンジ (中央部・下部)

●ハンドルの施錠・解錠方法

1. ハンドルのシリンダー部にキーを奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

ご注意

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
 - ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。
- また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。

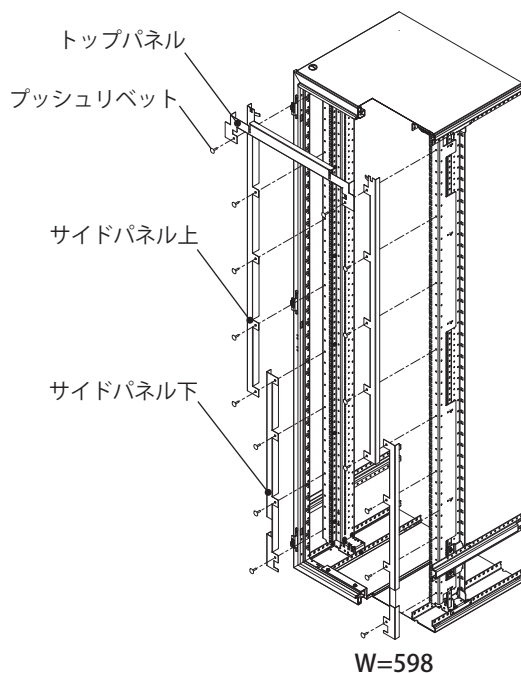


⚠ 注意

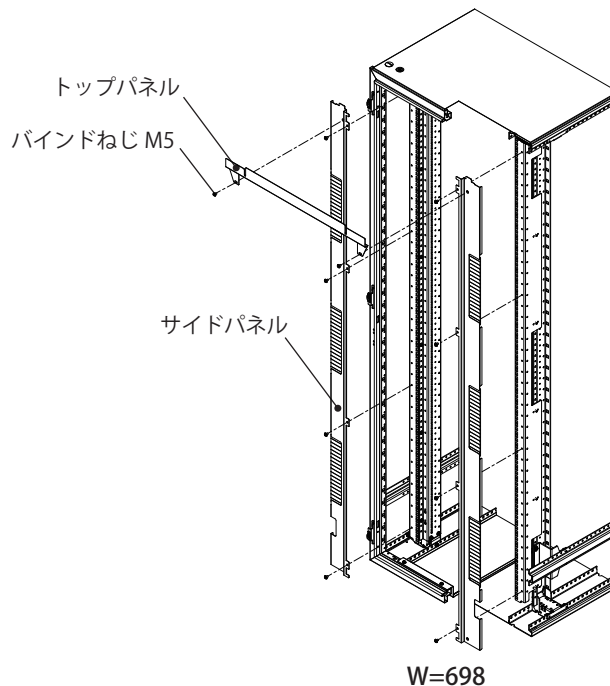
	ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。 ・潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は、約 1 万回です。 ・キー・シリンダーの磨耗により交換が必要な場合は、別途で用命ください。
	シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	
	シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。	

●エアシールドの着脱方法

1. トップパネルを固定している プッシュリベット (W=598) または バインドねじ M5 (W=698) を取り外してください。
2. サイドパネルを固定する プッシュリベット (W=598) または バインドねじ M5 (W=698) を取り外してください。
3. 取り付けの場合は逆の手順で行ってください。

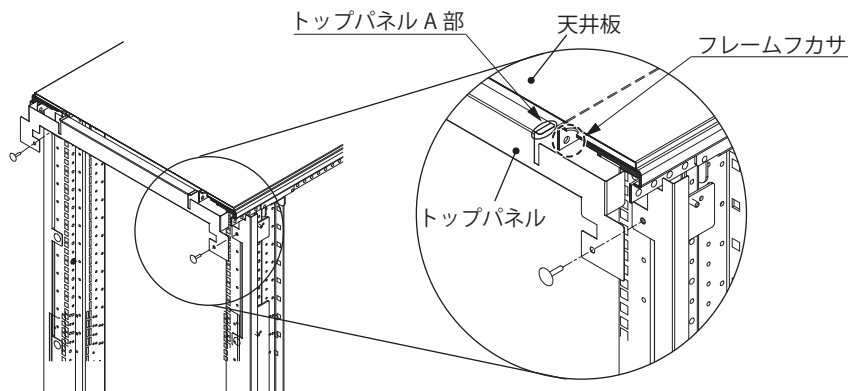


W=598



W=698

W=598 のトップパネルを取り付けの場合は、トップパネル A 部をフレームフカサと天井板の間に引っ掛けて固定してください。

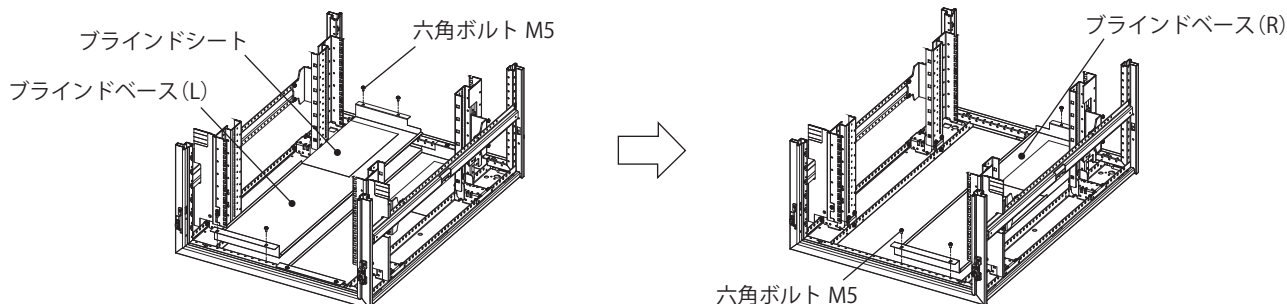


⚠ 注意

</

●ブラインドベースの着脱方法

1. ブラインドベースの取付ねじ 六角ボルト M5(ブラインドベース 1 枚あたり 4 本)を取り外してください。
2. ブラインドベース (L)、ブラインドベース (R)の順番で取り外してください。
3. 取り付けの場合は、逆の手順で行ってください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

●ブラインドベースの配線方法

ブラインドシートに切込みを入れて、ケーブルを入出してください。

■マウントレール・マウントアングルの移動方法

機器の寸法に合わせて、マウントレール・ケージナット用マウントアングルを移動し、調整してください。

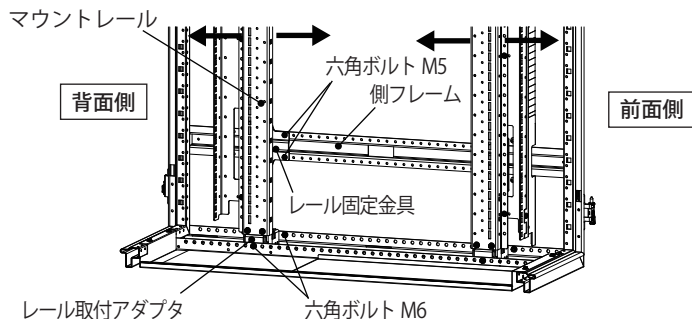
●マウントレールの移動方法(前後移動ピッチ 20mm)

1. エアシールドのトップパネルを取り外してください。(6 頁「●エアシールドの着脱方法」を参照)
2. レール取付アダプタ(上下各 4 個)の取付ねじ 六角ボルト M6(マウントレール 1 本あたり 6 本)を取り外してください。
3. レール固定金具(下部 4 個)の取付ねじ 六角ボルト M5(マウントレール 1 本あたり 2 本)を取り外して移動してください。

【ご注意】 マウントレールを移動させると、「表 1」のオプション実装ができない場合があります。

表 1

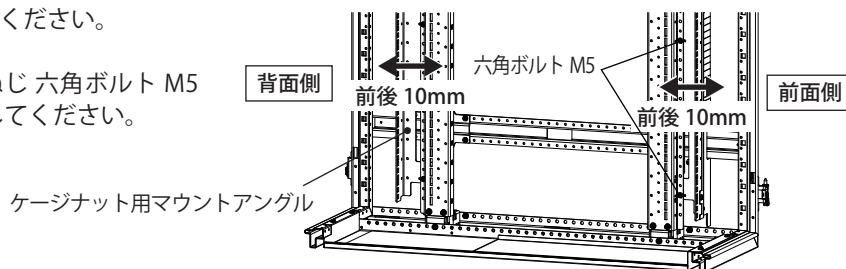
製品名	品名記号
重量用台板セット	RD151-□
スリット付台板セット	RD152-□
重量用スライド式台板セット	RD161-□
スリット付スライド式台板セット	RD162-□
山型レール	RD62-□
L 型レール	RD65-□
重量用 L 型レール	RD651-□
線止めバー	RD83-D□
ケーブルトレイ (奥行用)	RD875-D□



●ケージナット用マウントアングルの移動方法(前後移動ピッチ 10mm)

ケージナット用マウントアングルの移動は、アンカー固定または連結作業後に行ってください。

1. エアシールドのトップパネルを取り外してください。(6 頁「●エアシールドの着脱方法」を参照)
2. ケージナット用マウントアングルの取付ねじ 六角ボルト M5を取り外して移動(前後 10mm 移動可能)してください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

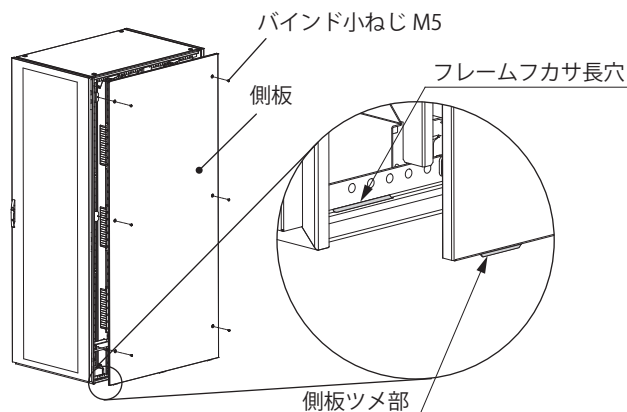
※ただし、S タイプねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
M5	2.9 ~ 3.9
M6	3.9 ~ 4.9

■側板組替仕様

●側板の着脱方法

1. 側板の取付ねじ バインド小ねじ M5 を取り外してください。
2. 側板全体を上へ持ち上げて側板下部のツメ部(3 か所)をフレームフカサ長穴から抜いて、側板を取り外してください。
3. 取り付けの場合は逆の手順で行ってください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

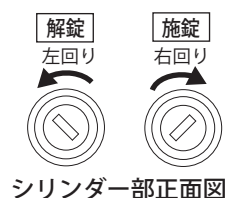
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

●カムロックの施錠・解錠方法(側板鍵付きタイプ【-SKV】)

1. カムロックに刻印されている鍵番号と同番号のキーをシリンダー部に奥まで差し込んでください。
2. 右回りで施錠、左回りで解錠してください。

ご注意

- ・施錠操作後に、確実にロックされていることを確認してください。
- ・キーの抜き差しは、所定の位置でゆっくりと確実に行ってください。また、キーを完全に差し込まない状態での回転動作は行わないでください。



⚠ 注意



シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。



シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

●配線孔スライドパネルの開閉方法(側板連結配線タイプ【-SHV】)

スライドパネルはラック内側および外側のつまみねじ操作で開閉します。
ラック正面側のスライドパネルはエアシールドのサイドパネル裏側にあります。
作業が困難な場合はサイドパネルを取り外して作業してください。(6 頁の「●エアシールドの着脱方法」を参照)

1. 側板外側からつまみねじをゆるめ、固定金具を下にスライドしてください。(図 1)
2. 側板内側からつまみねじをゆるめ、スライドパネルをスライドして側板内側のつまみねじで固定してください。(図 2)
3. スライドパネルを閉じる場合は逆の手順で行ってください。

ご注意

- ・つまみねじは取り外す必要はありません。2～3 回転ゆるめてスライドパネルの開閉操作をしてください。
- ・スライドパネルを固定する場合は、つまみねじ座面凸部を固定金具の丸穴にはめ込み固定してください。(図 3)
- ・スライドパネルを閉じる場合は、スライドパネルが確実に固定されていることを確認してください。

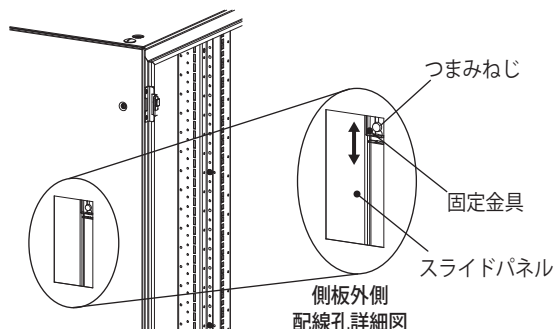


図 1 側板外側

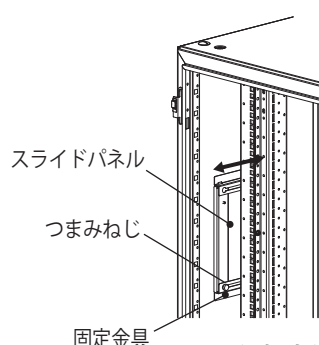


図 2 側板内側

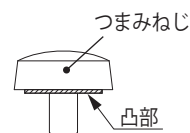


図 3 つまみねじ詳細

■各種オプションの取付方法

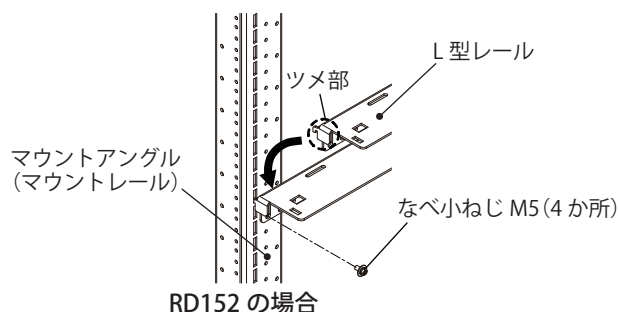
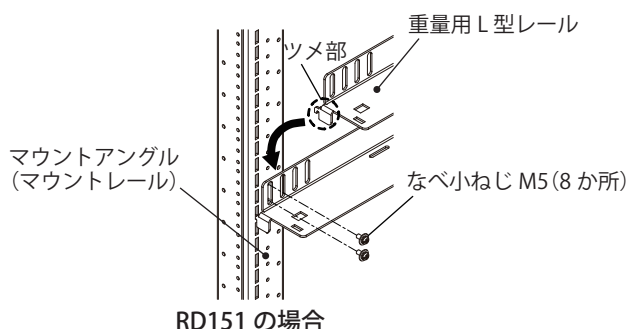
●重量用台板セット【RD151-□SN(K)】・スリット付台板セット【RD152-□SN(K)】

1. 重量用 L 型レール・L 型レールの取付

重量用 L 型レール・L 型レールのツメ部をマウントアングル(マウントレール)の角穴に引っ掛けて、付属のなべ小ねじ M5 で固定してください。

ご注意

マウントアングル(マウントレール)に番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付いているか確認してください。



2. 台板の取付

※図は RD152 を示します。RD151 も同様に取付けてください。

①台板のツメ部を L 型レールの角穴(後側) に差し込んで、位置決めしてください。

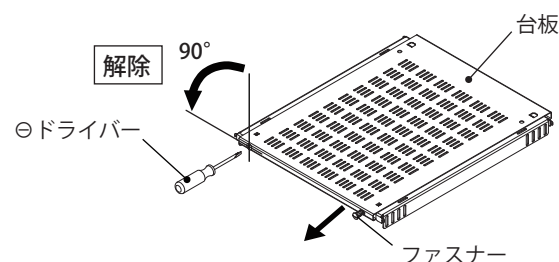
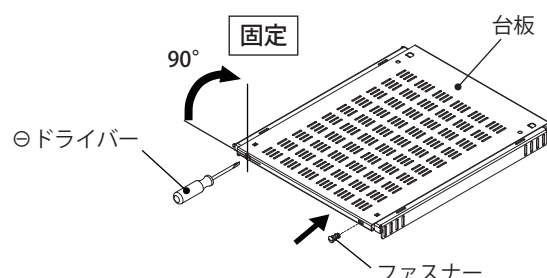
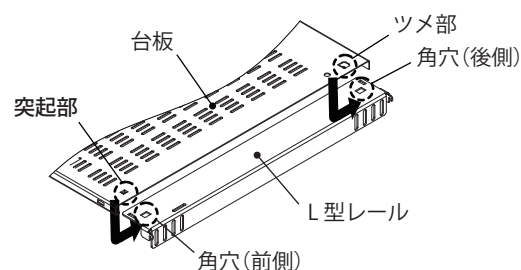
②台板の突起部と L 型レールの角穴(前側)の位置が合うように、台板を置いてください。

③付属のファスナーを台板前面の固定穴に差し込んで、 Θ ドライバーなどで右回りに 90° 回して固定してください。

④台板を外す際は、ファスナーを左回りに 90° 回して固定を解除してください。

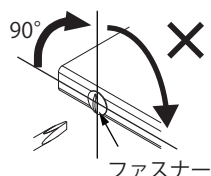
⑤ファスナーを前面に引いた状態で、台板を外してください。

ご注意 ファスナーは完全に引き抜かないでください。



⚠ 注意

台板取付用ファスナーは 90° 以上回さないでください。破損の原因になります。



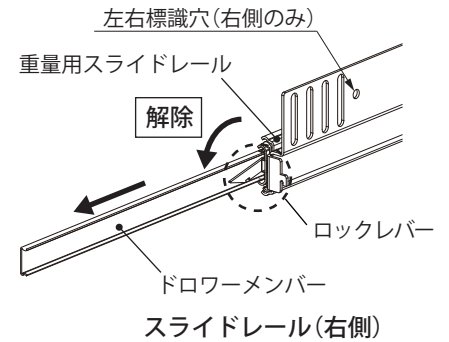
取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M5	2.9 ~ 3.9

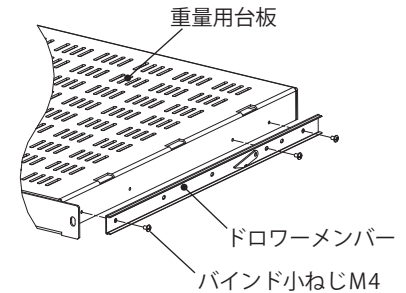
●重量用スライド式台板セット【RD161-□ES(K)】

1. スライドレールの取付

- ①重量用スライドレールからロックを解除して、ドロワーメンバーを取り外してください。
重量用スライドレールの右側はロックレバーを下げて、左側はロックレバーを上げてロックを解除してください。



- ②ドロワーメンバーを重量用台板に付属のバインド小ねじ M4 で固定してください。

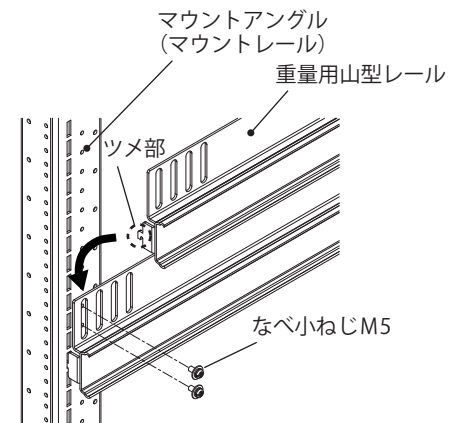


2. 山型レールの取付

重量用山型レールのツメ部をマウントアングル(マウントレール)の角穴に引っ掛けて、付属のなべ小ねじ M5 (8 か所) で固定してください。

ご注意

マウントアングル(マウントレール)に番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付いているか確認してください。

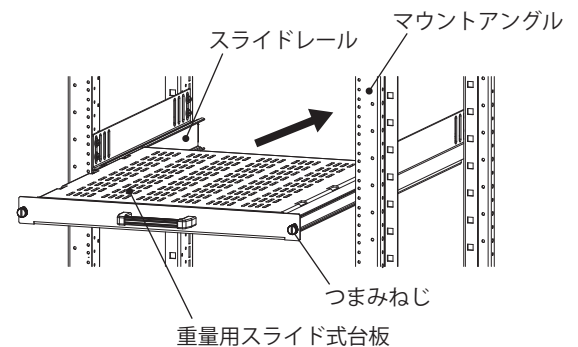


3. 重量用スライド式台板の取付

重量用スライド式台板を重量用スライドレールに挿入して奥まで収納して、つまみねじでマウントアングルに固定してください。

ご注意

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。
数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



⚠ 注意



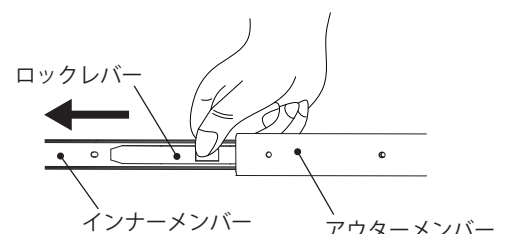
取り付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

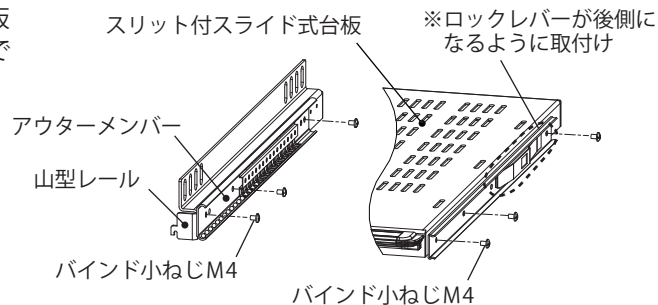
●スリット付スライド式台板セット【RD162-□SN(K)】

1. スライドレールの取付

- ①ロックレバーを押し込んでロックを解除して、インナーメンバーをアウターメンバーから取り外してください。



- ②山型レールにはアウターメンバー、スリット付スライド台板にはインナーメンバーを、各々付属のバインド小ねじ M4 で固定してください。

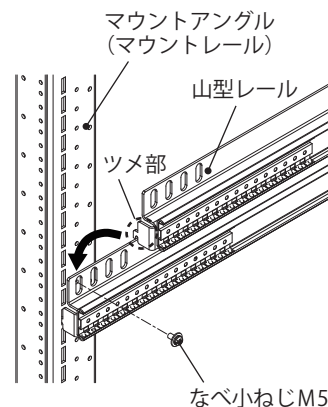


2. 山型レールの取付

山型レールのツメ部をマウントアングル(マウントレール)の角穴に引っ掛けて、付属のなべ小ねじ M5 (4 か所) で固定してください。

ご注意

マウントアングル(マウントレール)に番号が印字されています。前後左右で同じ番号の位置に取り付いているか確認してください。



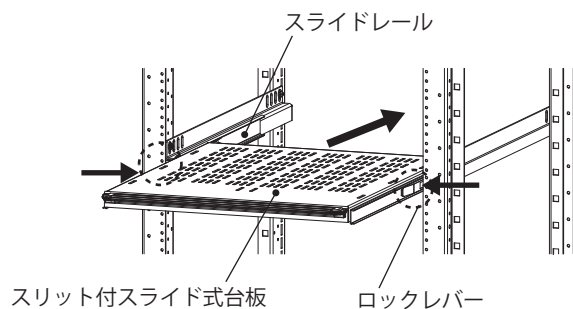
3. スリット付スライド式台板の取付

- ①スリット付スライド式台板をスライドレールに挿入してください。

- ②スライドレールのロックレバーを左右同時に押し込みながら、スリット付スライド式台板をロックが掛かるまで奥に収納してください。

ご注意

最初の挿入時は動きが硬く感じる場合があります。数回の出し入れを繰り返しながら徐々に押し込んでください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締めトルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

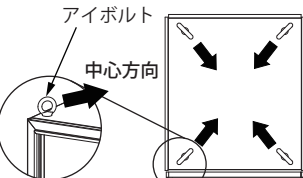
ねじの呼び	適正締めトルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

●アイボルト【RD71-16】

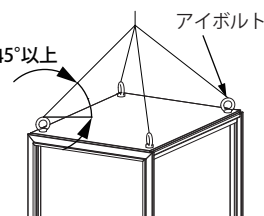
⚠ 警告



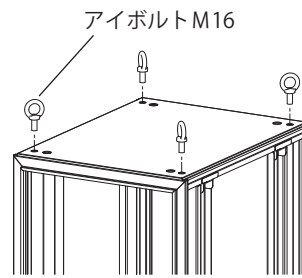
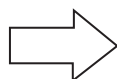
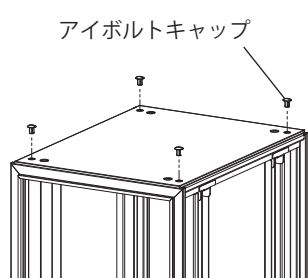
本製品を吊り上げる場合は、アイボルト【RD71-16】を使用し、吊り上げ中心方向に向けて固定してください。落下・破損・変形の原因になります。



必ず4か所で吊り上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2か所での吊り上げや45°未満の角度での吊り上げは、落下・破損・変形の原因になります。

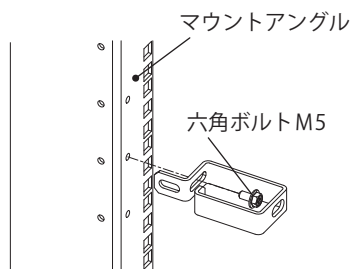


天井の4コーナーにあるアイボルトキャップを取り外して、アイボルト M16 を取り付けてください。アイボルトキャップが手で回らない場合は、⊖ドライバーなどで反時計方向に回して外してください。

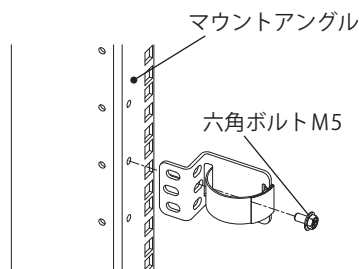


●ケーブルホルダー【RD87】

フレーム枠、背面側マウントアングルの取付穴(φ4.6)に合わせて、付属の六角ボルト M5 で固定してください。



RD87-1SK



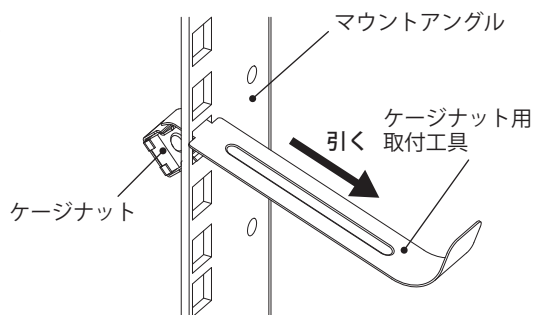
RD87-1・2TK

●ケージナット【RD751-□】

1. ケージナットのばねの一方を、マウントアングルの角穴に引っ掛けてください。
2. ラックに付属のケージナット用取付工具 または ㊦ ドライバーなどでもう一方のばねに引っ掛けて、引いて角穴に入れください。

【ご注意】

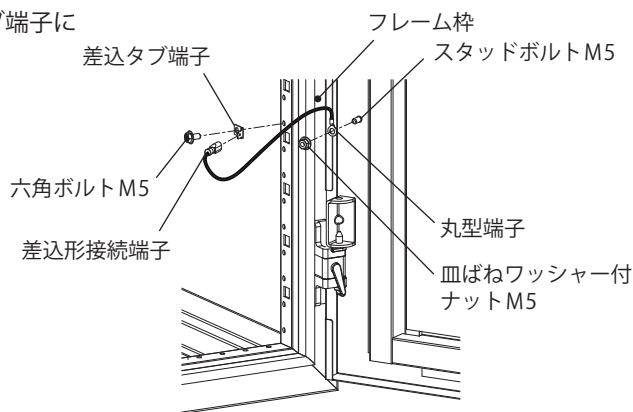
角穴ピッチが小さくケージナット同士が干渉して取り付けづらい場合は、ケージナットを 90° 回転させてヨコ向きに取り付けてください。



ケージナット(タテ向き)取付例

●アース線【RD891-20C】

1. ラック本体のフレーム枠の取付穴(φ4.6)へ、差込タブ端子を付属の六角ボルト M5 で取り付けてください。
2. 外装パネルのスタッドボルト M5 へ、アース線の丸型端子側を付属の皿ばねワッシャー付ナット M5 で取り付けてください。
3. アース線の差込形接続端子を、1. でフレームに取り付けた差込タブ端子に接続してください。



⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
皿ばねワッシャー付ナット M5	1.5 ~ 2.0
M5	2.9 ~ 3.9

※ただし、S タイプねじにおいて締め付け時の初期トルクはこの限りではありません。

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

TEL (0561) 64-0152

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2021年10月
B946748922

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION